

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	太田 公昭	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3387		事務事業名称	教育振興事業					短縮コード	経常	3387	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第45条、教育公務員特例法第21条						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
①子供模擬議会は、市内児童生徒の議会を学習する体験学習として平成3年から実施 ②郷土読本は、小学校3、4年社会科で学習する郷土の指導のため昭和43年に初版発行 ③生徒指導主任会議は、生徒指導担当者の指導力と資質の向上を図るため昭和50年より実施 ④各種会議は、教職員の職能と識見の向上のために昭和53年度から開催 ⑤学校要請訪問は、各学校における教科・領域の研究実践を充実させることにより、教師の指導力を高めるために実施。⑥教育研究会補助金については、教職員の自主的な研修団体である教育研究会を補助し、研修機会を充実させるため実施。 ⑦理科センターを市内の学校に指定し、教職員の研修の機会を確保している。 ⑧外国人児童生徒教育相談員については、市内在住の外国人児童生徒を学校に受け入れるため開始した。 ⑨指導課での教育相談は、教育関係の相談機会を増やすため開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 ①子供模擬議会は所期の目的を達成したため終了。より児童生徒の自主的な地域への働きかけを重視するため平成21年度から子どもサミットを開催予定。 ②学習指導要領の改訂に伴い、内容の大幅な改定を予定している。 ③生徒指導の重要性が高まってきている。 ④学校教育への課題が多様化している。 ⑤初若年教員の増加に伴い、要請訪問のニーズが年々高まっている。 ⑥⑦新しい教育課題に対応できるよう教職員の資質の向上が必要である。 ⑧外国人児童生徒は増加傾向にある。 ⑨相談内容が複雑化・多様化している。				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	02	教育内容の充実						
					細 項 目	01	学習・生徒指導の充実						
03	心の教育の推進												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①市内公立中学校3年生 小学校6年生 ②市内各小中学校生徒指導主任 ③市内小中学校教職員 ④小中学校教職員 ⑤教職員 ⑥教職員 ⑦外国人児童生徒 ⑧児童生徒及び保護者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ①子供模擬議会開催 ②「わたしたちの八千代市」の作成 ③生徒指導主任会開催 ④主催事業開催（10事業） ⑤学校要請訪問の実施 ⑥教育研究会運営委員会参加・教育研究会への補助金交付 ⑦理科事故防止研修会の実施 ⑧外国人児童生徒教育相談員の派遣 ⑨来庁者との面談及び電話相談							
	※平成21年度に計画していること： ①子供模擬議会については所期の目的を達成したため平成20年度をもって終了。平成21年度より「子どもサミット」を新たに実施し、小中学生の地域への積極的な参画を目指す。①以外は20年と同様。							
意図 （何を狙っているのか）	①子供模擬議会→市政、議会に関する関心の向上。子どもサミット→地域の一員として、地域に主体的に参画する態度の育成。 ②小学校3・4年生の教科書に代わる副読本としての活用。 ③指導力及び資質の向上。 ④教職員の資質の向上。 ⑤教職員の教科・領域指導の指導力向上。 ⑥⑦教職員の研修の充実。 ⑧日本での生活への不安の軽減。 ⑨相談者の悩みやストレスの解消や緩和。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内小学校3年生	人	2,032	1,944	1,954	1,902	
	指標2	市内公立中学校3年生	人	1,415	1,447	1,454	1,545	
	指標3	市内小学校6年生	人	1,841	1,882	1,888	1,875	
活動指標	指標1	子供模擬議会（子どもサミット）参加児童生徒	人	52	48	48	88	
	指標2	郷土読本の配布冊数	冊	2,300	2,300	2,300	2,300	
	指標3	生徒指導主任・生徒指導担当職員数	人	33	33	33	33	
成果指標	指標1	子供模擬議会・子どもサミット参加児童生徒数/小学校6年	人	1.6	1.4	1.4	2.6	
	指標2	郷土読本の配布冊数/小学校3年	%	100	100	100	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3387	事務事業名称	教育振興事業			所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成や、子どもの思考力・表現力・判断力の育成とともに、子ども及び家庭・地域からの教育的ニーズに対応した教育環境の推進を図るために、評価・改善を加えながら事業を進めていく必要がある。平成２１年度から実施する「子どもサミット」は地域社会と小中学校を結ぶ懸け橋としてその成果が期待できる。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止（事業完了含む）							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			手法プロセスの改善により、より主体的な児童生徒の活動による地域社会との融合が期待されるため。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
①参加児童生徒を中心とした地域への自主的、積極的な活動が期待できる。 ②郷土読本は社会科授業における中心教材である。③生徒指導の重要性が認識されてきている。 ④⑤「確かな学力」の定着「豊かな心」の育成について多くの保護者や市民より要望が出ている。 ⑥教職員の資質の向上は市民の願いであり、教職員が専門的な研修を受けることは児童生徒の健全育成につながる。 ⑦理科の授業数は減少しているが、実験中の事故発生の危険に対し教職員の研修が必要である。 ⑧外国人児童生徒及び保護者だけでなく学校現場からもニーズが高まってきている。							

所属長コメント	教職員の資質の向上のための研修の推進、子どもサミットや郷土読本をはじめとする教育振興事業を今後も充実させていきたい。						
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課評価のとおり，課題なく推進可能なことは順次推進すべき。			
	☒ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							